

第 27 回（生活支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 26 年 10 月 27 日（月）13：30 ～ 15：00
2. 開催場所：社会福祉会館 3 階
3. 参加者（所属のみ）：南筑後 HWE、八女市包括、若楠園、蓮の実園、夢工房、蓮の実団地、陽だまりの里、おおぞら、年輪の園、ふるさと、ゆうゆう、八女作業所、社協、城山学園、飛形学園、広川町役場、牛嶋
4. 実施内容
 - 講話：「食育」について
講師：八女市地域包括支援センター 檜室美恵子 氏
 - ・体は食べ物で出来ている。口、腹、頭で食べる。
 - ・食事は、愛情を感じられる場。ナチスの時代に赤ちゃんの実験。抱っこをしてミルクを飲む赤ちゃんと、抱っこせずにミルクを飲む赤ちゃんでは、抱っこしない赤ちゃんは 1 歳までに亡くなった。
 - ・人間らしい食事になるように。
 - グループ討議
 - A グループ
 - ・糖尿病：甘いものが欲しくなる。楽しみやメリハリをつける。甘味料をご褒美として取り入れる。
 - ・高齢化でむせやすい、姿勢も悪くなる。歯科衛生士や ST（言語聴覚士）の指導を受ける。
 - ・噛む＝ストレスを押さえる。
 - ・日課に運動を取り入れる。嚥下指導。
 - B グループ
 - ・各施設の悩みを報告。
 - ・感覚過敏で、触感が嫌な子供に対して、口当たりを替えたり、違う食材で栄養を補う。
 - ・若い時からの食生活は、大人になってからは変えにくい。若い時からの食生活が大切。
 - ・通所では、昼食の管理は出来るが、朝食、夕食は分からない為、1 日の栄養管理が難しい。
 - ・スタッフからの栄養指導は保護者には入りにくい、外部の講師からの話が入りやすい。
 - C グループ
 - ・通所：昼食はスタッフも一緒にテーブルにつく。弁当を確認して声掛けをしている。
 - ・一人暮らしの高血圧の弁当のお誘い。
 - ・新鮮な畑を利用する余暇活動で、食への関心につながった。
 - ・イベントなどにおいて皆で食べると驚くほど食が進む。みんなの前で食べられなかった人も、少しずつ食べられるようになってきた。
 - その他
 - ・蓮の実園より、歯科衛生士の採用と取り組みについて報告。
 - ・城山学園より、食材の業者の紹介。
 - その他
 - ・南筑後保健福祉環境事務所：アルコール依存症に関する講演会の紹介。